

～ 災害から身を守るために ～

①地震に備えて ～あわてず、まずは身の安全を！

※参考資料～気象庁HP



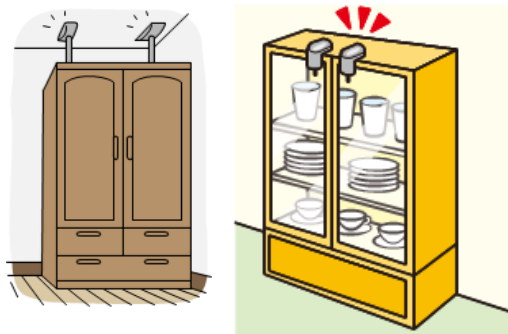
強い揺れまで
数秒から数十秒

緊急地震速報を見聞きしたら...



身の安全確保を最優先に！

- ◎ あわてず、まず身の安全を！
 - ◎ まわりの人にも声かけを！
- 日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。緊急地震速報がなくても揺れを感じたら行動を！



家具は転倒防止や扉の開閉防止措置を！

《津波から命を守るために》

★ 津波から命を守るためには迅速な避難が必要です！！

強い揺れや弱くてもゆっくりとした長い揺れを感じたら、津波警報等の発表を待たずに直ちに避難しましょう！（「ここは大丈夫だ」と思わない）



- ① 自らの判断で避難する
 - ② 「より遠く」ではなく「より高い」所へ避難する
 - ③ 自分が率先して避難者になる
- ※一番に逃げることは恥ずかしいことではありません！

②風水害に備えて ～正しい情報のもと早目の避難を！



《事前にできる備え》

- ① 家の外の備え
 - ・ 窓や雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じ補強する。
 - ・ 風で飛ばされそうな物は固定したり、家の中へ入れる。
- ② 家の中の備え
 - ・ 非常持ち出し品を確認しておく。
 - ・ 窓に飛散防止フィルムを貼る（カーテンなども有効）
 - ・ 断水に備えて水を確保しておく。
- ③ 避難準備
 - ・ 避難所への経路を確認しておく。
 - ・ 家族で避難場所や連絡方法を話し合っておく。



《被害に遭わないために》

- ① 最新の気象情報をチェック
 - ・ 気象庁ホームページ等で最新の気象情報をチェックする。
 - ・ TV、ラジオ、携帯アプリなどを活用して情報を入手する。
- ② 危険な場所に近付かない
 - ・ 増水した河川や側溝、崖崩れがおこりやすい山間部に近付かない。（田んぼや畑を見に行くのも危険です）
 - ・ 冠水している場所を無理に車で通行しない。
- ③ 早めの避難
 - ・ 市町村の避難情報に従って早目（自主的）に避難する。
 - ・ 外に出るのが危険な場合は、2階以上の崖や沢からなるべく離れた部屋で待機する。

災害時に救助が必要な場合も...

あせらず あわてず 110 番！



「おや？何かおかしい！」と感じたら110番!!

イベント会場など人が多く集まる場所において、

- 場にそぐわない服装でいたり、荷物を持っている人
- やたらと周囲を観察している人
- 持ち主や置かれた状況等が判明しない物

など、不審な人や物を見かけた際は110番通報にご協力ください。

あなたの  でテロ防止！！

福岡県警察防犯アプリ「みまもっち」好評配信中！

福岡県警察公式防犯アプリ「みまもっち」が好評配信中です。（無料）最新の事件情報の提供、防犯ブザー機能、110番通報機能など様々なサービスがあります。

この機会に日常の行動を「防犯」という視点から見直してみませんか？

